

施策評価表(平成21年度実績評価と平成23年度方針)

作成日	平成 22 年 9 月 1 日
-----	-----------------

施策No.	11	施策名	青少年の健全育成	21年度 施策位置付け	<input type="checkbox"/> 重点施策 <input checked="" type="checkbox"/> それ以外
施策統括課名	子育て支援課	施策統括課長名	宮崎 守通		
施策関連課名	生涯学習課				

1. 施策の目的と成果実績

施策の目的 「対象」	対象指標名	単位	19年度実績	20年度実績	21年度実績
			6歳～18歳未満の市民人口(5月1日現在)	人	12,938

施策の目的 「意図」	成果指標	単位	19年度実績	20年度実績	21年度実績
			青少年委員・地区青少協のイベントに参加した青少年の述べ人数	人	12,809
青少年の健全育成に関心をもっている市民の割合	%	82.3 (20年度調査)	76.7 (21年度調査)	76.7 (21年度調査)	

成果指標設定の考え方	青少年の健全育成の関心度(施策成果アンケート調査)				
成果指標の把握方法(引用資料、算定式など)	施策アンケート調査で「青少年の健全な育成に関心があるか」の問いに対して「関心を持っている」「どちらかといえば関心を持っている」と回答した割合。				

施策の成果向上に向けての市民と行政との役割分担	市民の役割	<ul style="list-style-type: none"> 青少年健全育成事業への参加・参加のためのきっかけづくり・働きかけ 地域における青少年の健全育成のための声かけ、見守り、指導等の活動 地域における青少年のための声かけ、見守り、指導等の活動
	行政の役割	<ul style="list-style-type: none"> 地域社会に対する意識の向上への周知 地域社会へのサポート体制

2. 施策成果の評価

施策成果の水準評価	<p><施策の成果水準評価></p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 21年度目標を上回る実績だった <input checked="" type="checkbox"/> 21年度目標通りの実績だった <input type="checkbox"/> 21年度目標を達成出来なかった <p>根拠： 年間事業計画に基づいた青少年委員会、各中学校地区青少年健全育成協議会支援事業が展開できた。しかし、これらの協議会の中には委員の欠席も見られるため、より良い活動を展開するため、一層の協議会と学校・PTAとの連携をもとめる声がある。</p>	<p>①近隣との比較 青少年の健全育成事業は各市で行われている。その活動内容に大きな差はない。</p> <p>②時系列比較 過去と比較しても大きな違いはないものと推定する。地道な活動を展開している。平成21年度における青少年の団体活動への事業参加人数は8,528名であった。</p> <p>③市民期待水準との比較 青少年の居場所づくりを望む市民の声は大きい。これをひとつのコンセプトとして、当該施策ではないが「子どもセンターひばり」を平成18年度に開設した。</p>	<p>貢献度の「高い」事務事業名</p> <ul style="list-style-type: none"> 中学校地区青少年健全育成協議会支援事業 愛のひと声運動支援事業 東久留米市青少年問題協議会 青少年委員会運営事業
			<p>貢献度の「低い」事務事業名</p>

3. 施策コストの実績と評価

施策トータルコスト		単位	19年度実績	20年度実績	21年度実績	①時系列比較 施策のコストはほぼ横ばい ②近隣との比較 市によって施策にかかるコストにばらつきがみられる。補助金額でみれば当市は中程度である。 ③納税者期待との比較 青少年の健全育成は、社会全体の責任であることを踏まえ、コスト負担は市の責任としても、納税者の期待との比較は単純にはできない。 <施策事業費の中で上位1/3を占める事務事業名> ・中学校地区青少年健全育成協議会支援事業
			①本施策を構成する事務事業の数	本数	6	
②事業費(本施策を構成する全事務事業の事業費合計)	千円	6,638	6,443	5,600		
③人件費(本施策を構成する全事務事業の人件費合計)	千円	15,230	15,110	13,988		
④トータルコスト(②+③)	千円	21,868	21,533	19,588		
効率性指標	対象(受益者)1単位あたりもしくは市民1人あたりの施策の					
	⑤事業費(定義式 ②/6歳～18歳未満の人口)	円	513	500	435	
	⑥人件費(定義式 ③/6歳～18歳未満の市民人口)	円	1,177	1,172	1,085	
	⑦トータルコスト(定義式: ④/6歳～18歳未満の市民人口)	円	1,690	1,672	1,520	

4. 施策の方針設定に際しての前提条件

施策の成果向上における市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市の関与の強化 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の現状維持 <input type="checkbox"/> 市の関与の軽減 * 行政と市民の役割分担含む 説明： 各地域にはリーダー的存在の方がおり、青少年健全育成事業のかなりの部分を担っている。行政はそれらの活動を側面支援するのが基本と考える。 しかし、現在のリーダーには長期間にわたって努めている方もおり、次世代リーダーの養成が必要である。 また、青少年委員のように欠員を抱えている事業もある。	<input type="checkbox"/> 対象の増加による施策事業費の増 <input type="checkbox"/> 対象の減少による施策事業費の減 <input type="checkbox"/> 受益者の行政需要の増加による施策事業費の増 <input type="checkbox"/> 受益者の行政需要の減少による施策事業費の減 <input type="checkbox"/> 制度改訂等による施策事業費の増 <input type="checkbox"/> 制度改訂等による施策事業費の減 <input checked="" type="checkbox"/> 施策事業費の増減なし 説明： 少子化に伴い対象の減少はあるが、青少年を取り巻く環境は変化し、新たな課題が発生している。(携帯電話、インターネット等) 子どもが健やかに成長していく環境を整えるために、行政もこの事業を継続していく必要がある。	<コスト削減不可事務事業名> (市の裁量ではコストを削減できない事務事業) なし
	施策コスト(事業費)の成り行き予測	施策コスト削減における市の裁量余地	コスト削減不可事務事業費の金額(比率) * 市条例は含まず 平成21年度実績 0 円 (0 %)

5. 全庁評価会議で示された施策の方向等

(優先施策の選定) 施策の方向性	23年度の施策位置づけ : 優先施策 <input type="checkbox"/> それ以外 <input checked="" type="checkbox"/> 【主な意見】 ・青少年問題協議会は、地域の健全育成事業の要となっている。 地域の健全育成事業は、なり手不足が深刻な状況であることから、活動内容と類似組織の整理が必要な時期にきている。
	①補助金交付団体の運営状況について ・地域の健全育成事業は、なり手が不足している状況である。 中学校地区青少年健全育成協議会(青少協)のメンバーが、青少年委員や社会を明るくする運動、愛のひと声運動のメンバーと重複している。 ・青少協と青少年委員の活動内容に重なる部分がある。

6. 平成23年度に向けた施策方針

施策をめぐり環境・状況の変化(予測)	<国・都の方針並びに関係法規等の変化> ・東京都は、人としてあたり前な挨拶や公共の場での基本的マナーを守れない子ども、良好な人間関係が気付かず心身ともに耐性を欠き自分をコントロールできない子どもが増えている状況を克服するため「心の東京革命」を推進している。現在進行しているものとして、心の東京ルールという下記の7つの呼びかけを推進している。 ①毎日きちんと挨拶させよう②他人の子どもでも叱ろう③子どもに手伝いをさせよう④ねだる子どもにがまんさせよう⑤体験のなかで子どもをきかえよう⑥子どもにその日のことを話させよう⑦先人や目上の人を敬う心を育てよう	説明： ・近年、青少年を取り巻く状況は、IT関連の犯罪などが加わり、多様化・複雑化している。東京都などが打ち出している青少年にかかる施策を反映させていくためにも、コストは現状維持とし成果も現状維持とする。	<取り組みべき課題> * 5.全庁評価会議で示された施策の方向等の「要検討課題」を受けて ・地区青少年健全育成協議会支援事業、青少年委員会運営事業等の各事業を通して青少年の健全育成に努める。 ・地区により、年齢層、各世代の人口等に違いがあり、事業の実施・参加者数に違いがあることが、課題の一つである。
	<市の状況、市民ニーズの変化> ・東久留米市青少年協議会では、前回(平成20年8月)報告した「青少年の心の豊かさや健やかさを求めて」の内容をもとに、より実践化、具現化、効率化を目指して検討を重ね、平成22年8月26日に「青少年の心の豊かさや健やかさを求めて(その2)」を東久留米市青少年問題協議会検討報告として市長に報告をした。		